



企画展

「顕神の夢—幻視の表現者— 村山槐多、関根正二から現代まで」

を開催します！

岡本太郎美術館では、4月29日（土・祝）より企画展「顕神の夢—幻視の表現者— 村山槐多、関根正二から現代まで」を開催します。

本展は、今までモダニズムの尺度により零れ落ち、十分に評価されなかった作品に光をあてる一方、すでに評価が定まった作品を「幻視」をキーワードに、それらが持つ豊かな力を再発見、再認識する試みです。

村山槐多や関根正二など日本近代美術を代表する画家から、新進気鋭の若手作家まで、世代を超えた約50名（約130点）の作品が一堂に会します。

《みどころ》

● 日本近代の名作から現代美術まで幅広く展示

「人間を超えた『何か』を感知し表現すること」をテーマに、江戸時代の円空の作品から新進気鋭の若手作家まで、幅広い世代の表現者の作品が一堂に会します。

● 日本美術史を編み直す新たな視点

本展は、モダニズムに通底する一神教的な価値観とは異なる、多様な『何か』によってもたらされた「霊性の尺度」によって新旧の作品を読み直していくことを目指します。



村山槐多《裸婦》(1915-16年)
町立久万美術館蔵



関根正二《少年》(1917年)
個人蔵



岡本太郎《千手》(1965年)
岡本太郎美術館蔵

- | | | |
|---|------|--|
| 1 | 会場 | 川崎市岡本太郎美術館 企画展示室 |
| 2 | 会期 | 令和5年4月29日(土・祝)～令和5年6月25日(日) |
| 3 | 休館日 | 月曜日(5月1日を除く)、5月9日(火) |
| 4 | 観覧料 | 一般1,000(800)円、高・大学生・65歳以上800(640)円、中学生以下無料※()内は20名以上の団体料金 |
| 5 | 主催 | 川崎市岡本太郎美術館、顕神の夢展実行委員会(岡本太郎美術館、足利市立美術館、久留米市美術館、町立久万美術館、碧南市藤井達吉現代美術館) |
| 6 | 監修 | 鎌田東二(京都大学名誉教授) |
| 7 | 助成 | 一般財団法人地域創造 |
| 8 | 同時開催 | 常設展「岡本太郎と太陽の鳥」
会期：令和5年4月20日(木)～令和5年7月2日(日)
※ 常設展の主な作品を紹介する音声ガイドについては、本展覧会から来館者の無料スマホ用アプリ「ポケット学芸員」で聴いていただけます。 |

【問合せ】

川崎市市民文化局 川崎市岡本太郎美術館 佐々木 電話 044-900-9898